

☆ 中 国

海外進出

INVISTA、上海のHMD新工場が稼働

米 INVISTA は、上海化学工業区で、21 万 5,000 トン/年の生産能力を有するヘキサメチレンジアミン(HMD)工場の稼働を開始した。

同社によると、アジアの中でも、特に中国には、ナイロン 66 の需要が長期的に増加する可能性のある地域がまだあり、同社は新たな HMD 工場によって、顧客により良いサービスを提供する。

同工場では、HMD の生産に同社の最新技術が使われている。ナイロン 66 のポリマーやファイバー、ポリウレタンや高性能ポリアミドの原料として使用され、最終用途としてはエアバッグや自動車部品、カーペット、アウトドア用品などがある。

なお、米 INVISTA Performance Technologies (IPT) は、漢邦(江陰)に PTA 技術を供与し、石庄化工区にある漢邦の 2 本目の PTA 生産ライン(年産 220 万トン)が 3 月 14 日に稼働開始している。漢邦は PET 樹脂工場も建設中である。(海外速報 2016 年 4 月 20 日)

☆ ド イ ツ

繊維機械

Oerlikon、Trützschler の短繊維機械技術を取得へ

スイスの大手繊維機械メーカー Oerlikon は、ドイツの Trützschler Nonwovens & Man-Made Fibers GmbH が保有する短繊維技術のポートフォリオを全面的に買い取る契約を締結した。Trützschler Nonwovens & Man-Made Fibers は Trützschler Group の傘下企業で、紡績や不織布向け機械を専門的に取り扱っている。買収対象となるのは、化学繊維部門の短繊維技術の専門技能や、同分野の顧客基盤やサービス事業も含まれ、Oerlikon にとって合繊短繊維分野での新規顧客開拓が期待される。

Oerlikon は化学繊維分野において合併再編を進めており、中核事業分野における技術と市場ポジションを強化している。Fleissner の短繊維技術ポートフォリオと Trützschler Nonwovens & Man-Made Fibers の知的財産を取得したことで、世界の短繊維市場において先端的な技術と機器のプロバイダーとなる。短繊維製造と連続重縮合工程との結びつきをますます強めており、現在化学繊維部門は、完全なソリューションを提供するプロバイ

ダーとしての地位を確固としたものにしていく。両社とも今回の取引については詳細を公開しないことで合意している。

Truetzschler Group は中核事業に集約することを決定しており、短繊維事業を分離することとした。

Oerlikon Group によると、同社はフィラメント事業ではすでに主要技術や市場で確固としたポジションを築いており、フィラメント事業以外での地位を強化する戦略をとっている。Truetzschler の短繊維技術ポートフォリオ買収はこの戦略に合致した重要なステップであるとしている。

また、Truetzschler Nonwovens & Man-Made Fibers が保有していた旧 Fleissner 社の短繊維技術のポートフォリオは、同社の事業に理想的であり、技術を強化し、サービス事業を拡大すると評価している。旧 Fleissner の短繊維技術を使った工場についても、全般的な顧客サービスを提供できるようになる。